消費トラブルにご注意！

From 消費生活センター

廃品回収を依頼したら高額な請求をされた

【事例】

巡回していた廃品回収業者にテレビとオルガンの回収を依頼すると、業者はそれ以外にも小型冷蔵庫やソファなどを勝手に持ち出し「回収費用として5万円」と請求してきました。そんな金額になると思っていなかったので「1万円しかない」と言うと「内金として1万円を払い、残りは振り込んで」と言われました。近日中に振り込むことになっていますが、高額な請求に納得がいきません。（80歳代　男性）

ひとことアドバイス

一般廃棄物の収集・運搬は、自治体の許可を受けた事業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼すると、トラブルのもとになりやすいので注意が必要です。

少しでもおかしいなと感じたら、消費生活センターにご相談ください。

問合せ

○消費生活センター
☎82－7830（なやみなし）

保険料免除申請は毎年必要です

経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「若年者（30歳未満）納付猶予制度」があります。

保険料の免除や猶予を受けず保険料が納め忘れの状態で、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられない場合がありますので注意してください。

平成27年度の国民年金保険料の免除などの申請を7月1日(水)から受け付けします。審査対象期間は7月から平成28年6月までです。

なお、保険料免除・納付猶予が承認される期間は、平成27年4月から保険料の納付期限から2年を経過していない期間（申請時点から2年1か月前までの期間）について、さかのぼって免除などを申請できます。

また、これらの手続きの申請は原則として毎年度必要です。ただし、全額免除及び若年者納付猶予については、継続申請することができます（失業などによる理由を除きます）。

今まで全額免除または若年者納付猶予の承認を受けており継続申請をしていない方や、一部免除の承認を受けていたかたは、6月で承認期間が切れています。引き続き免除などを希望する場合には申請が必要です。申請するかたは、必ず平成26年中の所得の申告またはご家族の扶養申告を済ませてください。また配偶者及び世帯主の平成26年中の所得の申告も済ませてください。

問合せ　戸籍年金係　☎内線234

水道工事休日当番

月	日	曜日	当番店	電話
7	4	土	土橋設備	82-2982
	5	日	㈲佐山設備	82-2152
	11	土	㈲根岸工業	82-0537
	12	日	㈲岩崎設備	82-0027
	18	土	㈲しんえい設備	82-0001
	19	日	山岸管工設備	82-0095
	20	祝	小倉設備	82-0261
	25	土	宇治川管工	77-0057
	26	日	高田管工設備	82-1856
8	1	土	㈲長谷川設備	77-0358
	2	日	土橋設備	82-2982
	8	土	㈲佐山設備	82-2152
	9	日	㈲根岸工業	82-0537
	15	土	㈲岩崎設備	82-0027
	16	日	㈲しんえい設備	82-0001

●水道料金納入地区　14区の一部～29区
●水道料金口座振替日　7月24日(金)

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
7月5日(日)	ごが内科檜クリニック ７３－７５８７	小西医院 ８６－２２６１	湯沢医院 ６２－２２０９	慶友整形外科病院 ７２－６０００	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
7月12日(日)	まりレディスクリニック ７６－７７７５	多々良診療所 ７２－３０６０	新井内科クリニック ２０－１２２０	海宝病院 ７４－０８１１	－
7月19日(日)	土井レディスクリニック ７２－８８４１	小林内科医院 ８８－８２７８	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
7月20日(祝)	森下内科医院 ７３－７７７６	竹越医院 ８４－３１３７	かさはら内科医院 ５５－２５３７	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	－
7月26日(日)	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	長谷川クリニック ８０－３３１１	加藤医院 ８９－１０３１	新橋病院 ７５－３０１１	－
8月2日(日)	はまだクリニック ８０－１１００	真中医院 ７２－１６３０	おうら病院 ８８－５６７８	小曽根整形外科 ７２－７７０７	今村クリニック ７０－２２２１
8月9日(日)	後藤内科医院 ７２－０１３４	田沼内科医院 ８８－７５２２	須田内科医院 ６３－１４１４	澤田皮膚外科 ７０－７７０３	－
8月16日(日)	安楽岡医院 ７２－０５７２	菅沼医院 ７２－９０９０	たなか医院 ６２－２８８１	最上胃腸科外科 ７４－３７６３	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午・午後１時～３時

◆緊急　館林厚生病院　７２－３１４０（内科系・外科系）
◆夜間　夜間急病診療所　７３－２３１３
午後７時～10時（日、祝日を除く）
内科・小児科（要電話確認）

診療時間は、午前９時～午後５時
●耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時
●救急テレホンサービス（☎７３－５６９９）：受診可能病院を紹介しています。

Face フェイス

好きな言葉は「今の自分に満足しない」

陸上の技術だけではなく、楽しさも子どもに伝えたい

宇治川美穂さん

UJIGAWA　MIHO

うじがわ　みほ/ 細谷在住23歳
小学生の陸上クラブのコーチとして活躍。趣味は走ることとカメラ。特に旅行先で風景写真を撮ることが多い。社会人２年目。得意種目は短距離とハードル。

陸上をずっと続けてきました

宇治川美穂さんは小学生の頃から走るのが好きで、中学生になると陸上部に入部しました。高校生になってからも迷わず陸上部に入部しました。毎日の練習も楽しく取り組みました。大学生になっても陸上同好会で陸上を続けました。練習が辛くてもやめたいと思ったことはないそうです。

そして大学卒業後に社会人となった宇治川さんは、中学生時代の恩師に誘われたことがきっかけで、邑楽・館林地域の小学生に陸上クラブで教えることにしました。

子ども達に教えるやりがい

宇治川さんはもともと陸上と同じぐらい子どもが好きだったので、子ども達に陸上を教えることはとても楽しいと話してくれました。子ども達は宇治川さんの話を一生懸命に聞いて、素直に練習に取り組み、努力の結果、タイムもどんどん上がるのでとてもやりがいがあるとのこと。

そして、宇治川さんが６年生の男の子と競走をして負けたときは「悔しい」と負けん気の強い一面も。

いろいろなことにチャレンジ

宇治川さんは「陸上クラブで指導している子ども達が中学生になったときに、陸上部に入って、楽しく続けてもらいたい」また自分自身の夢としては、「ホノルルマラソンに出場することと、スカイダイビングやスキューバダイビングなどいろいろなことにチャレンジしたい」と夢を語ってくれました。

そして「これからも子ども達に陸上の技術を教えるだけでなく、楽しさを伝えていきたい」と話してくれました。

インタビューに笑顔で気さくに質問に答えてくれた宇治川さんでした。これからも子ども達に陸上の楽しさを教えてください。応援しています。

レポーター
広報編集委員
落合（おちあい）　智之（ともゆき）